マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）利用報告書

※課題番号 ：　JPMXP1224MS\*\*\*\*

※利用形態（主） ：　技術相談・機器利用・技術補助・技術代行・共同研究・データ利用

利用形態（副） ：　技術相談・機器利用・技術補助・技術代行・共同研究・データ利用

※利用課題名 ：

※課題申請者名 ：

※所属機関名 ：

課題申請者情報

　　 ORCID 　 ：

　　※年齢層 　　 ：　20代以下、30代、40代、50代以上

　　※所属機関区分 ：　大学等、公的研究機関、大企業、中小企業、その他

※公開猶予希望（公開猶予は原則2年まで）：　なし　　あり（公開猶予期間：　yy/mm/dd）

 その他の利用者名 ：

 ARIM担当者名 ：

※横断技術領域（主）：　物質・材料合成プロセス

横断技術領域（副）：　計測・分析　加工・デバイスプロセス　計算科学・シミュレーション

※重要技術領域（主）：　高度なデバイス機能の発現を可能とするマテリアル

　　　　　　　　　　　革新的なエネルギー変換を可能とするマテリアル

　　　　　　　　　　　量子・電子制御により革新的な機能を発現するマテリアル

　　　　　　　　　　　マテリアルの高度循環のための技術

　　　　　　　　　　　次世代バイオマテリアル

　　　　　　　　　　　次世代ナノスケールマテリアル

　　　　　　　　　　　マルチマテリアル化技術・次世代高分子マテリアル

　　　　　　　　　　　その他

重要技術領域（副）：

※重要技術領域キーワード：　<https://nanonet.mext.go.jp/page/keywords_techarea.html> より確認頂けます。

※利用した設備のID 番号 ：（分子研マテリアル HP「設備一覧」 <https://arim.ims.ac.jp/howtouse/list/> より確認頂けます。）

 ※利用した設備のID番号　：

 ※キーワード　　　　　：

※概要（Summary ）：

※実験（Experimental）：

※結果と考察（Results and Discussion）：

その他・特記事項（Others）：

論文・プロシーディング

口頭発表など

関連特許

受賞等

利用者アンケートご協力のお願い
このアンケートは、分子研 マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）あるいは文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）全体の支援機能向上に役立つもので、分子研では、皆様のご意見をもとにこれまで実際に改善を行ってきています。

分子研では、2022年度までに電子スピン共鳴装置、オペランド多目的粉末・薄膜X線回折装置、オペランド電気化学走査プローブ顕微鏡、X線光電子分光、絶対PL量子収率測定装置などを整備し、2023年度4月からは、高感度磁化測定が可能な「**Quantum Design社製 MPMS-3**」の共用を開始しました。

2024年1月には、**EPMA（日本電子製 JXA-8230　軟X線分光器（SXES）搭載）と高磁場NMR600MHz（溶液）（日本電子製　JNM-ECZL600G）**を導入しご利用いただいております。

また、2024年には、**低温単結晶X線回折装置（Rigaku社製　XtaLAB Synergy-R/DW）、有機自動合成システム（Cole-Parmer社製　INTRGRITY10）、熱分析装置（MicroCal社製　PEAQ-DSC）**の公開利用を開始しました。

これらは利用者の皆様がこのアンケート等に書かれた要望を参考に措置されたものです。

また、2022年度から政府戦略の一つである「データ駆動型研究開発」への措置として、共用設備から得られたデータを皆様の研究に活用いただくための、「データの蓄積」も開始いたしました。2023度末までのデータ蓄積数はおよそ1,600件となっております。

回答は短時間ですみますし、事業を継続・発展するために必須の報告書の一つです。

また、分子研からの回答率は毎年他機関に比べて低調で、次期プロジェクト予算配分に影響を及ぼします。

これらのことをご理解のうえ、なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

番号でお答えください

利用者アンケート（分子研）：番号でお答えください

質問１．機器センターの施設利用（ナノプラットを含む）に申請したのは何度目ですか？

３．5回以上

２．2～4回

１．初めて（どこでお知りになりましたか）

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 |  |
| 1の場合 | 情報へのアクセス場所： |

質問２．当センターの施設利用を利用した理由を **2 つまで**選んでください。

６．使用料金が無料

５．装置の調整がしっかりされている

４．装置の性能が良い

３．旅費が支給される

２．測定のサポートが受けられる

１．所属機関から近い

０．その他（記述）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | １つめ： | ２つめ： |
| その他 |  |

質問３．寒剤（液体窒素・液体ヘリウム）の供給体制はどうでしたか？

４．非常に良い

３．良い

２．ふつう

１．使用しなかった

|  |  |
| --- | --- |
| 番号 |  |

質問４．今後の機器センターに期待することを教えてください。（**複数回答可**）

５．現在所有する機器の更新

４．オプションの充実

３．新規機器の導入

２．技術スタッフによるサポートの充実

１．特になし

０．その他（記述）：

|  |
| --- |
| 番号５（機器の更新） |
| 機器名称： |  |
| 番号４（オプション） |
| 機器名称・オプション： |  |
| 番号３（機器の導入） |
| 機器名称： |  |
| 番号２（ユーザーサポート） |
| サポート内容： |  |
| 番号１（特になし） |
| 番号０（その他） |
| その他： |  |

※何も記載がない場合は、「特になし」とします。

質問５．その他ご要望やご意見がありましたら、自由にお書きください。

|  |
| --- |
| ご意見：ご要望： |

利用者アンケート（ARIM）：マイクロソフトフォームにてご回答ください。
　日本語版
　<https://forms.office.com/r/PwynvSFsZk>

　英語版
　<https://forms.office.com/r/4K8qDKhjtu>